

令和6年度 小金井市立東中学校 授業改善推進プラン

1 授業改善の方針

- 研究奨励校として「主体的な学び」を実現するための質の高い学習過程（東中スタイル）を追求する。
- 基礎基本の徹底と学習習慣を育成し、学びのサイクルの構築と持続的な学習を推進する。

2 生徒の現状分析

(1) 全国学力・学習状況調査

国語	○『書くこと』に関する思考力・判断力・表現力についての課題が大きい。
数学	○全体的には都の水準を上回っているが、図形領域にやや課題がみられる。

(2) 児童・保護者・教職員アンケート

- 学校評価アンケート(教員)から学習意欲を高める工夫・改善は積極的に行うことができているが、生徒の持続的な学習習慣の構築が課題である。

3 各教科等における授業改善の視点

国語	○ICTを活用して書く機会を増やし、他者と交流しながら表現の幅を深める。 ○自ら問いを立て探求する活動を追求する。
社会	○データや絵画などの提示する資料を工夫し、生徒が主体的に疑問や興味・関心をもてるようにしていく。 ○社会的事象について、ICT機器も活用しながら自らの考えや意見を他者と共有し、それを踏まえてさらに自らの意見を深めることができるようにする。
数学	○授業の中で生徒自身が主体的に疑問をもち、それを解決していくことで学習内容の理解が深まる授業展開を行う。 ○思考力を高める問題を積極的に扱い、ICT機器を用いたグループ活動を通して自ら論理的に説明する場面を増やす。
理科	○事物・事象を実際に観察しながら、その原理や規則性を考え、仮説を立てた上で検証する実験を行う。その際は他者との意見交換を大切にし、実験前の仮説や実験後の考察もコミュニケーションをとりながら議論を深めていく。
外国語	○ICTを用いて教科書の題材や言語材料の導入を行う。その際、導入方法の共有と助言をしながら、生徒の興味を引きつける指導をする。 ○各単元にて言語活動を行い、習った表現と生徒自身のアイデアを結び付けることで学習内容の定着を図る。
音楽	○ICT機器で自分の表現（歌唱・器楽・創作の活動）を録音録画し、生徒同士で聴き合ったりアドバイスし合ったりして課題をつかませる。課題解決のための方法を自ら考えさせ、自分の表現を聴くことを繰り返しながら豊かな表現につなげる。 ○鑑賞活動において、より細かな部分（演奏されている楽器、旋律や強弱、速度の変化など）を聴き取って記入する欄をワークシートに設けたり、批評文の書き方の注意を具体的に示したりして、音楽に対する自分の考えを言葉で表現できるようにする力を身につけさせる。
美術	○アイデアスケッチでは、友達同士でアイデアを出し合い、多様な考え方ややり方を知ることによって発想を広げさせる。 ○毎時間に振り返りシートを書かせることで、自分の現状把握や今後の見通しをもたせ、完成度の高い作品制作をさせる。

<p>技 術 家 庭</p>	<p>○ICT を活用して最新の技術について提示し、興味関心を喚起する。 ○教科書の QR コードを読み込み、視覚教材で確認しながら正確な技能の定着を図る。</p>
<p>保 健 体 育</p>	<p>○実技において、仲間にアドバイスをする場合、まず、気づいたことをメモし、それをもとにコミュニケーションをとらせる。 ○ICT : Chromebook やパワーポイントを使用して、技能のイメージ化を図るとともにポイントの明確なイラストを用意したりするなどして、指導する内容を焦点化する。</p>
<p>道 徳</p>	<p>○ICT を活用して視覚教材の提示や意見共有を行い、話し合い活動や他者の意見を聞く場面を多く設ける。 ○いじめに関する授業を学期に 1 回は取り入れ、情報モラルについてもとりあげる。</p>
<p>総 合</p>	<p>○総合的な学習の時間で行う学習活動に系統性をもたせ、3 年間をかけてプレゼンテーション能力などの思考力・判断力・表現力の向上を目指す。 ○キャリア教育を主軸として、1 学年では職業調べ、2 学年では上級学校調べなど、3 年間の学習内容に系統性をもたせる。</p>